

漁業における脱石油や省エネ技術の開発について

漁業は北海道・北東北地域における基幹産業であり、国民への食料供給に大きな役割を果たしている。

一方、漁船用動力機関は、すべてが軽油をはじめとする石油燃料に依存していることに加えて、生産経費に占める燃料費の比率が大きくなっている。しかしながら、代替燃料による漁船用動力機関や省エネ技術の開発が遅れており、昨今の原油価格高騰は漁業経営に大きく影響を与えた。また、地球温暖化などの環境保全の観点から、今後、環境に配慮した産業形態への転換が迫られることも懸念される。

このため、国において機械・電気等他産業と一体となって、燃料電池等石油燃料によらない漁船用動力機関や省エネ技術の実用化に向けた技術開発を行うことを求める。

平成21年10月19日

北海道知事 高橋はるみ

青森県知事 三村 申吾

岩手県知事 達増 拓也

秋田県知事 佐竹 敬久

